

職場の問題を共に考え改善へ

第74回定期大会を開催

国 労 ち ば

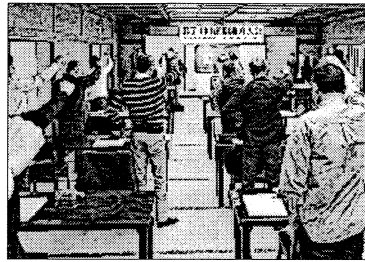
国鉄労働組合
千葉地方本部
発責 井村 好博
編集 安田 正浩

【電話】
JR 2930 FAX 2934
NTT 043(238)5963
FAX 043(238)5967

第47回定期地方大会号

コロナ禍でも創意工夫した大会へ

11月14日、国労千葉地本はホテルプラザ菜の花にて、第74回定期大会を開催した。



国労本部や東日本本部がコロナウイルス対策として書面大会として開催されたが、地本は代議員による議決を重視し、代議員と大会構成員のみの参加・受付での検温と手の消毒・さらに時間を短縮するなど、コロナ禍のなかでも感染防止を重点におき行われた。

はしめに、井村副委員長の開会あいさつの前に、昨年の大会以降に亡くなられた4名の組合員へ参加者全員で黙とうを捧げた。

初の時短大会の議長には木更津運輸区分会の長田代議員が選出され、議事が進行された。

樫尾委員長、東日本本部の伊藤書記長があいさつした。他の来賓の方からはメッセージを頂いた。

安田副委員長が2名の組合功労賞と機関紙コンクールの表彰につ

いて報告した。

2019年度の経過と決算、2020年度の運動方針と予算案が一括提起され討議した。

8名の代議員からの発言を受け、執行部の答弁。書記長が集約して、満場の拍手により一括して承認された。

選挙委員会より2020年度新役員が発表され、新旧役員があいさつした。

議事進行に奮闘した長田議長が解任あいさつし、労をねぎらった。

安田副委員長が閉会あいさつし、井村新委員長の前で団結カンパニーを三唱し閉会した。

コロナ禍の中で国労本部と東日本本部は初めての書面大会となったが各地本の協力で無事に開催出来た。

年末手当ては東海と東日本が22ヵ月、貨物が16ヵ月の回答。コロナによる経営への直撃から厳しい交渉・回答を予測し、執行委員会として議論した。

東日本ダイジェスト版の発行体制の強化。各支社への「要請書」の提出をしようとした。



伊藤書記長

東日本本部あいさつ

ど私たちに労働組合だからこそ出来る運動を取り組んだ。

不平・不満の声を代弁した交渉、そして何より最大の課題の組織拡大に向けた取り組みに結び付けられたかなどの総括が重要だ。

グループ会社の多くではこれからが山場。

私たちの最大の課題は組織の強化・拡大だ。プロパー社員・組合員の奮闘で連鎖的に加入していただいた。この流れを止めない運動を。コロナ感染防止を図り対面会議と交流を基本にオンライン会議も含め運動を進めていく。

新型コロナウイルス感染症は、私たちに多くの課題を突き付けた。

この社会がまさしく階級社会であることをハッキリ見せつけた。

富裕層は自粛しても何とかなるが「派遣労働者」「非正規労働者」など低賃金で不安定な雇用状態の人が医療や



樫尾委員長

福祉、物流などを背負わせられている。

5月のメッセージでコロナ禍における労働安全衛生を守らせる地本の闘いの報告と「緊急事態宣言」後の「委員長のあいさつ」過度な自

委員長あいさつ

既存の「社友会・新和会」を支社内で一つにまとめる動きがある中で、労働組合を知らない仲間や労働組合の必要性を話していくことが重要。社員代表選挙は国労運動を知って

もらう絶好の機会。組織の現状から分会再編を行ってきた。広範囲で活動が大変な分会もあるが、連絡体制を取り定例の活動を始め、機関紙を発行する分会も出ている。

今年度はつらく悲しいことが続いた。退職まで残り4ヵ月の仲間が「孤独死」した。働き続けるのが困難になり中途退職したエルダーの仲間もいた。支えることの困難さを痛感し

た。健康で働き続ける条件を守るため、組合の中で「広める分会活動」と未加入者へ「見せる分会活動」を強化していく。組織拡大に近道はない。

職場が抱える問題を仲間と一緒に考え、悩み、職場改善の取り組みを通し国労への信頼を広げる運動を進めていこう。

今大会で、成果や教訓、経験をお互いの発言から学び合おう。

- 2020年度 執行委員体制**
- 執行委員長 井村好博 (津田沼)
 - 執行副委員長 北嶋利則 (千電気)
 - 安田正浩 (佐倉)
 - 書記長 加藤晃一 (両国)
 - 執行委員 越川幸夫 (佐倉)
 - 嶋田福実 (新保)
 - 宮負寧 (大網保)
 - 佐川正則 (新浦安)
 - 会計監査員 古賀将也 (機関区)
 - 鈴木浩 (津田沼)

経過報告

昨年10月の第73回定期大会以降、労働条件改善、安全・安定輸送の確立、2020春闘勝利、組織の強化・拡大を取り組んできた。新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けて様々な行動が規制される中で、創意・工夫し出来る運動を進めた。「地域公共交通対策委員会」では、ワンマン運転実態把握へ久留里線視察。仙台地本協力の東北本線ワンマン運転視察と意見交流。鹿島線視察と水戸地本執行委員・地元鹿嶋市議と意見交換。130名が結集した「JRの安全と利便性向上を求め千葉県集会」でこの間の取り組みと運動の趣旨を報告した。勝浦市議の照川議員主催の「鶴原まちづくりの会の住民集会」では「JR外房線の現状と課題」と題し久留里線や東北本線視察のスライドを使いJRの実態を報告。44名参加の「JRの安全と利便性向上を求め成田・鹿嶋地区集会」では鹿島線視察をスライドにまとめ説明した。

8月31日には、内房線江見駅で「日本郵政グループとの一体運営」が開始された「安全第一」が後追いの施策にならないように検証していく。

7月の拡大分会長会議では、社員代表選挙を通じた若い仲間への声かけと安全衛生委員会の活性化。新入社員への組合説明会。新型コロナウイルス感染防止対策。5月の外房線脱線事故対応などの発言が出された。

社員代表選出選挙は、多くの職場で国労組合員が立候補し組合員以上の票を獲得。JES S事業所では5管区全てで社員代表に選出された。「職場闘争」の重要性を確認し、選挙運動を通じた取り組みから、労働条件改善と組織拡大に向けた意思統一がされた。新型コロナウイルスが蔓延する中で取り組まれた2020春闘では、JR貨物のベア完全実施を求める行動、「切実な要求の実現をめざす署名」を取り組むなど各職場から闘いを構築、千葉地本からも社長宛に抗議の要請書を送った。

方針提起

組織と運動、財政をどう次世代に継承していくかが大きな課題。本部の提起した「5年ビジョン」を踏まえ、職場からの丁寧な議論を積み上げた運動の展開が求められている。国労運動の継承、組織を発展させていくには、組織拡大が必要不可欠。できないことを正当化

せず、仲間の取り組みに学び、コロナ禍で自粛ムードではあるが創意工夫しながら全力で取り組む。来年2021春闘の要求方針も含めて労働組合の構えとどこに向けて要求するのか、その起ち位置が問われている。「ポストコロナ」を意識した国労運動をどう構築するか。地本執行委員が分会・職場に足を運ぶ中で職場の

問題・課題を丁寧に集め、全体のものとしながら各会社とその解決を求めていくことも必要。「グループ経営ビジョン」の実現に向けた「変革」の嵐が吹き荒れる中、労働組合の果たす役割は重要。会社施策に対するチェック機能を発揮し、社員が安心して働き続けられるルールの確立、安全・安心な公共交通として

の鉄道の再生に向けた運動を全体で展開していく。喫緊の課題である組織の強化・拡大は、仕事や職場の問題を放置しない取り組み、職場内・外を通じた信頼関係と仲間づくりが拡大の目だ。「分会の再編」で分会体制も強化をさせ、定期的に集まる場を設け議論し、分会機関紙でその取り組みを広める努力もみられる。

「分会の活性化」に向けた取り組みの強化と、その先に見据える組織拡大を展望した運動につなげていく。国労の現状から課題は山積している。歴史と伝統によって培われた国労運動を組織の総力で進めなければならぬことからも、すべての闘いを組織強化・拡大運動に集約すべく、総団結、総決起で取り組むことを強く訴える。

書記長集約



加藤書記長

会社の進める「親和会や社友会」では団体交渉はできない。労働条件を改善するため労働組合が必要と訴え理解を求めると、ともに闘う仲間を増やしていくことが喫緊の課題。新浦安分会と蘇我連

輪区分会の他系統分会交流は、問題点を共有する中から統一した要求へとつなげたいと開催された。職場の問題、仲間の苦悩、悩み、不安を共有する事で何が問題なのか、どうすれば解決できるのかを議論しているが、そうした風土が展望の持てる組合活動につながる。職場から目的意識を持ち、機関会議・分会集

会での意思統一を行ない、組織的な対応をすすめる中で「組織の拡大」運動を取り組むことが重要だ。地本執行部が精力的に各分会の集まりに参加し情勢認識を共通のものとしていく。利用者・交通弱者への「サービス低下・利用者の声を無視した」施策に対して、私たち

の主張を地域へ訴えていくため駅頭宣伝行動や列車本数削減などの「ダイヤ改正」、「地域住民の足を守る」取り組みとしての大衆闘争を強化する。「JR東日本ステーションサービス会社（JES S）」での格差賃金や労働条件・職場環境問題に対し「社員代表」を勝ち取り安全衛生委員会などであらゆる改善を求めていく。乗務員職場での「ワンマン運転の拡大導入」

は、利用者のサービス低下、乗務員の精神的不安増など、影響は計り知れない。更なる検証と利用者・住民へのアピールなど大衆行動を展開する。乗務員の職場環境・行路交番の問題、車両検修職場での検修・車両職等の技術継承・人材育成の危機、貨物職場の「新しい人事制度」による賃金削減攻撃、設備・電気部門の「電気の変革2020」やメンテ再構築、線路設備モニタリングなど、労働条件改善と安全・安定輸送の根幹を揺るがす施策に対して改善を求めていく。地本として職能別協議会や関係分会と協力して具体的に行動提起していく。2021春闘は「賃金・生活実態アンケート」の集約で明らかかなように「切実な生要求の集約とする。

運動の軸足をしっかりと根付かせ、職場オクルグの定期的な実施で、職場組合員との意思の疎通をはからなければならぬ。組織拡大を展望した運動の再構築を目指し、職場の組合員とともに全力で取り組むことを訴え、第74回定期大会の集約とする。

経過・方針 討 論



秋山代議員
佐倉分会

都賀駅から銚子駅までの分会で集まるのが大変。コロナで分会行事が次々中止に。年だからもう無理という気持ちもあるが、何とか執行委員会を開き集まる場をどう作るか、問題解決へどうしていくか話し合った。来月に分会大会の開催を計画。着帽・要員のアンパランス・異常時対応・乗務員からエルダーで来る人の教育時間など問題は多岐に。精神疾患の原因にも。足を運び話を聞き取り組み。あと数年でエルダー・パートナー組合員のみ分会に。分会だけの運動の限界に。ブロックや地域別など分会の再編が必要。



竜崎代議員
蘇我運輸区分会

社員代表選挙に助役が立候補、「助役は管理者ではない」と会社側は主張するが助役の主張文には「管理者の立場として」の文言が。安全衛生委員会を通して若い人と話す。会社の言うことに問題意識を持たない若い人たちがどう向き合っていくか。問題意識を持ってもらうため分会ニュースを発行。新浦安分会と系統を超えた交流会を開催した。配転させられた4人が助役に来ている。余裕を持った要員配置を。



東平代議員
千葉運輸区分会

社員代表選挙では各労組と話し合い統一候補を出し未加入者が多い中で勝利。安全衛生委員会にかかわりコロナ対策などの改善を取り組む。内・外房線の動物との衝突問題で運転士の声を掴む。「線路に降りて点検するの

は怖い」という声に継続して会社に対策を求める。職場の声を集めれば会社も動かざるを得ない。職場協議制度の替わりとしての位置付け、取り組みになれば。国労だけでなく職場全体で考えていく。職場に労働運動を残す気持ちで頑張る。



寺林代議員
新小岩保線分会

社員代表選挙では落選したが組合員以上の票を獲得した。自分たちには何が出来るか話し合い取り組んでいく。社友会は社員を組合に入れさせないための対策。あと数年で分会の現役がいなくなる。終電繰り上げで夜間作業の開始時間が早まること寝不足で事故につながる。



佐藤代議員
両国分会

加藤前分会会長が8月に亡くなり哀悼の意を表す。浅草橋駅・両国駅のみどりの窓口の廃止、両国駅と亀戸駅で遠隔システムによりそれぞれの東口が無人性化になる。コロナ禍での赤字を理由に要員削減しようとしている。コロナ感染に怯えて仕事、窓口のピニール交換など改善要求するが叶えられない。体調がすぐれないと訴えた社員は自宅待機を命じられたがすべて年休対応。



越川代議員
千葉機関区分会

個人査定をすべて「D」と記入したら会社から「A」にしてと言われた。管理者の査定にも響くのか。高年齢の職場だが退職後の要員配置はない。体がきつく乗務を降りたい人がいるが行き先がない。問題は山積だが粘り強く交渉する。

コロナ対策でオフピーク通勤が実施されるが、早出の人は早く終わっても仕事が終わらないため2時間ほど超動している。要員不足が解消していかないのが原因。何のためのオフピークか。現状のまま退職を迎えるには不安が。突発的事故が多発し時間

外作業という悪循環に。事後調査でなく早期に設備の不具合や、異常を発見することが重要。モニタリング装置では現場の変化や見えない所も出ている。人間の目で見るという確実で基本的な部分が蔑ろに。



飯田代議員
大網保線分会

仕事が多いのに要員が少ないため、毎月20時間ほどの超動をしている。災害が多発。出勤してこれない人は年休扱いと脅かされ、前泊する人も出ている。警備や作業前後の待機時間も休憩とみなされることもある。



三好代議員
千葉保線分会

退任あいさつ



尾智 智

予想もしない事が起こるものだから、そこでどうするか？だ。ただ、待っていては何も変化はしない。何を目標達成のために、自分はこれならやれそうということ。「為すべきを為す」。私も職場で皆さんと共に闘うことを約束してご挨拶と致します。五年間、お世話になりました。



高方 聡
74回 執行委員を

退任となりました蘇我運輸区分会の高方です。昨年の台風被害調査では多くの方々にご協力を頂き有り難うございました。今後は分会の仲間と力を合わせて頑張っていく決意です。



島崎 良
在任中 財政部を

経験と知識不足から皆さまにご迷惑とご心配をお掛けしました。地本との執行に携われたことは貴重な経験になりました。この経験をこれから先人のためだけでなく、自身の成長にも活かしていきます。

答 弁

▼社員代表選挙では、個人情報を持って社友会に支社長以外が入れるのはおかしい。
▼動物との衝突では、実験と実証するという会社の回答。運転士二人で対応できるか疑問。
▼コロナ禍で体調不良時の年休

扱いは会社はケース・バイ・ケースと説明する。勤務証明を明らかにしない。パートナー会社にもマスクを支給するよう要請。
▼分会再編は継続検討する。
▼モニタリング導入で検査が3週間に1回から3ヵ月に1回に延ばされ事故も多発。事後保全が当たり前になっている。



【表彰分会】
 最優秀賞 蘇我運輸区分会
 優秀賞 新浦安分会
 木更津分会
 佐倉分会
 運輸協議会
 新小岩保線分会
 千葉運輸区分会
 両国分会
 特別賞
 新小岩保線分会
 佳作
 両国分会

今年の機関紙コンクールは、27分会中7分会と4職能別協議会中1協議会の8つの機関紙を対象にコンクールを開催した。コロナ禍の中、組合のイベントや動員、分会の集まりも制限され、ニュースの記事を集める事が困難になり発行が停滞する分会も出ています。このような状況でも、昨年を上回る発行数を上げた分会があります。

今回のコンクールでは、今年度も新たに機関紙の発行を取り組まれた分会がありました。しかし、発行が2部で停滞しているために佳作としました。

機関紙コンクール



組合功労賞



高橋利之さん
 (両国分会)



江川則雄さん
 (新保分会)

今年の組合功労者は新小岩保線分会の分会長と工務協議会長を長年務めた江川則夫さんと、地本の会計監査員を長年務めた高橋利之さんの2名が受賞した。

大役お疲れさまでした

第74回大会の議長は、木更津運輸区分会の長田代議員が務めた。コロナ感染拡大防止のため、初めての時間短縮大会の議事進行をスムーズに進められた。お疲れさまでした。



拡大分会長会議 新春労働講座

日時: 2021年1月17日(日) 13時 場所: 国労千葉地本 会議室
 日時: 2021年1月17日(日) 14時 場所: 国労千葉地本 会議室

社員代表選挙の取り組み④

こんなにたくさんの任務

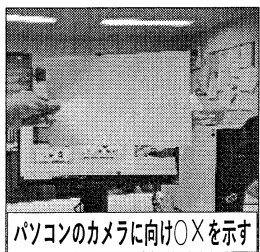
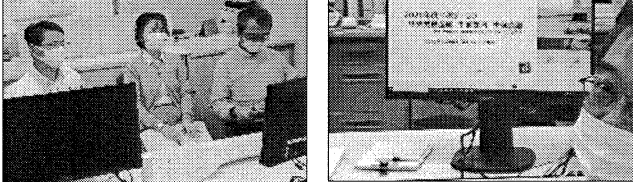
過半数代表者の選出が必要な労使協定

労使協定が要件となっている労働基準法上の制度としては次のようなものが挙げられる。

- ①時間外・休日労働協定(36協定)
- ②社内預貯金等の貯蓄金管理制度
- ③賃金控除の協定
- ④1ヵ月単位の変形労働時間制
- ⑤フレックスタイム制
- ⑥1年単位の変形労働時間制
- ⑦1週間単位の非定型的変形労働時間制
- ⑧一斉休憩の適用除外
- ⑨代替休暇
- ⑩事業場外のみなし労働時間
- ⑪専門業務型裁量労働制
- ⑫時間単位での年次有給休暇の付与
- ⑬年次有給休暇の計画的付与
- ⑭年次有給休暇の賃金を標準報酬日額とする協定。



千葉地本初のリモート会議



11月4日、中央労金千葉支店の全体会議は、コロナ禍の中、リモート会議となった。

千葉地本初のリモート会議に、出席した飯高・佐川両執行委員と野村書記は神妙な面持ちでパソコンの画面と、上に設置されたカメラに相対していた。

- ▽社会民主党千葉県連合会
- ▽新社会党千葉県本部
- ▽日本共産党千葉県委員会
- ▽元吉栄一いすみ市議
- ▽中央労働金庫千葉支店
- ▽千葉中央法律事務所
- ▽千葉県労働者福祉協議会
- ▽千葉県交通運輸産業労働組合協議会
- ▽全国交通共済東日本事業部
- ▽鉄道退職者の会千葉地方連合会
- ▽運輸労働千葉県連合会
- ▽全日通労働組合千葉支部
- ▽国鉄千葉動力車労働組合
- ▽全農林労働組合・千葉農政分会
- ▽京葉臨海鉄道労働組合
- ▽自治労社会保険関係労働組合連合千葉支部連絡協議会
- ▽国鉄闘争の経験と教訓を活かす千葉県共闘会議
- ▽千葉県高等学校教職員組合
- ▽全水道千葉県水道労働組合
- ▽千葉スクラムユニオン
- ▽東日本NTT関東合同労働組合千葉支部
- ▽ユニオン市原
- ▽東葛ふれあいユニオン
- ▽郵政産業労働者ユニオン千葉支部
- ▽習志野地区労働組合
- ▽江戸川区労働組合センター
- ▽墨田区労働組合連絡会
- ▽江東区労働組合連絡会
- ▽葛飾区労働組合協議会
- ▽東京東部全労協
- ▽東京交通労働協東部ブロック協議会
- ▽東京労働安全衛生センター
- ▽全国一般・東京東部労働組合
- ▽全労働者組合FAユニテッド闘争団
- ▽JAL不当解雇撤回裁判原告団
- ▽国鉄労働組合(岡山地方本部・新潟地方本部・盛岡地方本部・仙台地方本部・東京地方本部・水戸地方本部)
- (敬称略・順不同)

メッセージを頂いた皆さま